

南風たより

～みなみかぜたより～

30周年に向けて 一院長挨拶

～地域医療において南部病院が担うべき役割について思うこと～

新緑が目眩しい時期も過ぎ、梅雨の気配を感じる頃となりました。時折肌に涼やかな風を感じることもあります。最近の医療界は大きな変化の風にさらされています。

少子高齢化や疾病構造の変化に対応できるように各医療機関の医療提供体制も変革を迫られています。政府の進める地域包括ケアシステムにより、病院での医療から在宅での医療、介護にスムーズに移行できるように医療機能の分化、連携がより重要になってきています。その中で南部病院が地域においてどのような役割を求められているかということ常々自問し続ける必要があります。

急性期病院としては急患や救急車の受け入れ、紹介患者さんに対する適切な対応、在宅診療の後方支援などが責務と考えています。院内の体制としては地域連携を強化し、各医療機関や介護施設との連携の元、安心して入院、退院して頂けるよう体制整備を行いました。

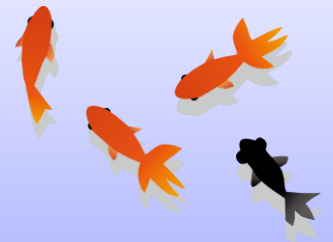
一方で当院は地域に開かれた一般民間病院としての顔も持っています。時代の情勢に移り変わりはありますが、今年で開設30年目を迎える当院が当初より掲げている「皆様に親しまれ、信頼される病院になる」という理念はいささかも変わっていません。

また、教育病院として宮崎大学医学部附属病院より多くの臨床研修医を受け入れ、将来の地域医療を支える医師として育ててもらえるよう熱意をもって指導しています。

今後も職員一丸となって地域の皆様に必要とされ、なくてはならない病院であり続けたいと考えています。



医療法人誠友会南部病院
院長 山成 英夫



新事務局長挨拶

銀行からの出向期間を経て、本年7月から当病院に入職いたします松浦と申します。只今、聞き慣れない医療用語が飛び交う中悪戦苦闘中です。

早く地域医療に貢献できるよう努力していく所存です。今後も南部病院は地域と共にある病院として患者さん、地域の皆様の支えとなる病院を目指して参ります。

南部病院、訪問看護ステーションなんぶ及び関連施設なんぶの杜職員一丸となって頑張りますのでよろしくお願いいたします。

趣味：サイクリング、土いじり(現在、バジル、大葉収穫中)

家族：美人の妻と娘二人



松浦史典 新事務局長

お知らせ

健康講座と

コンサート開催

平成29年7月1日(土)

午後3時30分より

外来待合室にて恒例の第4回健康講座とミニコンサートを開催予定です。お時間ある方はぜひお立ち寄りください。

～第2回地域包括ケア交流会報告～

平成29年4月14日
当院カンファレンス室
にて、第2回地域包括
ケア交流会を開催いた
しました。



特別講演
弘中 信厚安楽寺副住職様

参加施設は14施設当院
スタッフ合わせて42名の参加となりました。

1回目は平成28年6月24日に強化型連携施設の6施設の先生方と訪問看護ステーションの皆様と行いましたが、今回当院と深い関わりのあるきよたけクリニックの小島章弘院長、日高医院の日高四郎院長にもご参加頂きました。会場は、川名先生のご助言により、当院のカンファレンス室で行うことといたしました。

2部構成とし、第一部は、安楽寺副住職弘中 信厚様に「“いのち”について」というタイトルで“いのち”とは何かという講演を行っていただきました。

”命” ”生命” ”いのち” ”寿” 4ついずれもいのちを意味する言葉ですが、それぞれ意味が異なってくるとい事、限りあるものと永遠に繋がるものがあるという事、それぞれの命は決して一人のものではなく遠い昔からたくさんの命が繋いできたものであるというお話でした。

”我が父がいて、我が母がいてここにいる”という事を再認識し、全てのいのちを尊ぶことが大切だと感じました。

第二部は、立食形式での交流会を行いました。まず、きよたけクリニック院長 小島先生と日高医院院長 日高先生からそれぞれ病院紹介して頂きましたが、小島先生は開院して25年、日高先生は、お父様から引き継いだ医院とのことで、長く地域に貢献して来られた病院であることがわかりました。

紹介の後は、思い思いにご歓談いただき、あっという間に予定の時間となりました。

最後は、川名先生による閉会のお言葉を頂き、閉会となりました。大きな会場ではできない非常に近い距離での懇親会ができ、山成院長の目指す顔の見える関係を築く一つのステップとなったのではないかと思います。

今後も様々な施設の方が参加して頂けるよう企画していきたいと、考えています。



～地域連携室紹介～



当院の地域連携の要である地域連携室のご紹介をいたします。社会福祉士2名、看護師1名の計3名で患者様と近隣医療機関や介護施設、公的機関との橋渡しを行っています。

患者様が適切な医療を受け退院後に元の生活に戻る事を念頭に、近隣施設の皆様と常に連携をとり、当院が地域に貢献できる最善の方法を考えていきたいと思ひます。



地域連携室スタッフ

編集局から

なぜ、人の命を奪ってはいけないのか、自分の命を終わらせてはいけないのか、講演をお聞きし、一人一人のいのちはその人だけの物ではなく、遠い過去から延々と繋いできたものであるからだと改めて感じました。

(文責石川)